

日

保護者の皆様へ

西郷村食育推進委員会委員長 加藤征男

(公印省略)

## 第二回「お弁当の日」の実施について

日頃より、学校給食の実施に際しましてはご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

西郷村食育推進委員会は、平成17年度より5年間「生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送る基盤としての、望ましい食習慣と食に関する適切な判断力を身に付ける」ための食育教育を推進してきました。これを受け給食センターでは、学校給食実施の立場から地域の食材を活用した安心で安全な『にしごうマクロビ給食』を提供しています。また、村内各小・中学校では、授業を核として望ましい食生活のあり方や家族愛・郷土愛・感謝の心の育成を図っています。

さて、昨年(平成20年)の11月5日村内の小・中学校が一斉で「お弁当の日」を実施しましたところ、子供達からは「自分で作ったのはとてもおいしかったです」「家族が教えてくれました」、保護者からは「娘がありがとうと言ってくれました」、学校からは「望ましい食生活を考え、実践する貴重な体験ができた」など大きな成果を得ることができ好評でした。

そこで、今年度も自ら望ましい食を実践するための「お弁当の日」を下記により実施することといたしました。つきましては、家庭でのご理解とご協力をお願いいたします。

## 記

1 実施日 平成21年10月19日(月)

## 2 留意事項

大切なことは、一緒に作ることで、家族のつながりを深めたり、毎日の食事一食に込められた愛情を知ったり、感謝をしたり、望ましい食生活を実践する力を高めたりすることにあります。

たとえば、小学1年生は保護者と一緒におかずを考え買い物をし、米とぎなどの手伝いをするだけで十分です。中学生は、学習したことを生かして、すべて自分で作ることもできると思います。

- (1) コンクールではありません。
- (2) 子どもの経験や発達段階に応じたお手伝いやアドバイスをお願いします。
- (3) 食材の買い物や後片付け等も大切な関わりです。
- (4) 弁当の日ばかりでなく、日頃から食事作りに関わらせてください。
- (5) 弁当箱は、家にあるもので十分です。
- (6) 中に好きな食材を入れ、まわりにふりかけをしたおにぎりでも十分です。

## 3 その他

給食センターでは、今年度もお弁当の日に向けた取り組みとして、給食に「セルフおむすび(10/2)」「手まきずし(10/9)」「お弁当につめてみよう(10/14)」を計画し、村内の全児童生徒がお弁当の量や詰め方などを体験できるよう配慮しております。ご家庭でもお子様にお手伝い等を通して食事作りに係わる体験ができるようご協力をお願いいたします。

なお、家庭の事情等がございましたら学校にご相談下さい。